

雑 感

令和4年以降例会に出席できなかった事と二所ノ関部屋大東後援会の件で新聞沙汰となり大変申し訳なく思っています。この件についての状況を説明させて頂きたいと思います。

例会に出席出来なかった

令和6年1月肩の痛みにより病院に行き五十肩痛と診断されましたが、痛みが治まる事は無く手が腫れて足の関節に力が入らなくなり血液検査の結果リウマチの疑いがあるとして大きな病院で精密検査をする事になりました。

病院でMRIと体全体のレントゲン、血液検査により関節リウマチと診断されました。治療は投薬を続けるだけで治癒することが期待できない事から、若年リウマチを発症した友人にこれまでの治療で効果があった治療を尋ねて針治療を進められ現在病院と針治療、整骨院に通っています。

毎月血液検査を行っていて10月の検査で、肝数値が上昇して数回腹部の痛みがあった事からMRIを行い胆管に胆石がある事が分かりました。直ぐに入院をして11月に胆管結石を内視鏡により摘出を行い、令和7年4月に腹腔鏡により胆のう全摘出を行い例会に出席する事ができませんでした。

二所ノ関部屋が宿舎を無断で使用

令和7年春場所において二所ノ関部屋の宿舎と稽古場を提供したことに、産経新聞が「無断使用と」掲載されました。この件について一切不正は行っていません。二所ノ関部屋大東後援会を引き受けた経過は、親方元横綱稀勢の里と17歳の頃から付き合い毎年大阪場所で食事をするようになりました。大関になった頃から場所中は毎日のように自宅で食事をして、横綱で優勝した大阪場所では、13日目にケガをして病院からの帰りに自宅で治療を行い部屋に帰るという日が二日続き、千秋楽を迎へ優勝決定戦で勝利し優勝しました。

その後ケガが完治する事無く引退をする事となり、令和3年7月荒磯部屋親方となりました。12月には第12代二所ノ関を襲名しました。

令和3年11月の九州場所後に大阪により親方から大阪場所を仕切って欲しいと頼まれ、「地元に対して協力し地域貢献をしてもらえるのなら引き受ける」と伝え引き受けました。今回問題となった宿舎は、新田中央公園内の備蓄倉庫兼避難施設です。避難施設は新田自治会が管理していて大東市と自治会が使用についての覚書を交わしています。覚書には自治会が認めたものとされていて、自治会は地域活性につながると考え自治会と二所ノ関部屋、二所ノ関部屋大東後援会の三者で覚書を交わして使用を許可されました。

市長は宿泊の許可はしていない、危機管理課も宿泊は許可していないと記者に回答しましたが、自治会と二所ノ関部屋には一切伝えていない。

自治会は前危機管理官から避難施設になっているので宿泊はできると聞かされていて、相撲部屋が来ることで地域活性につながると許可しました。